

会 議 録

1 会議名

令和7年度 第10回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

①上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）について

②地域独自の予算事業の一覧について

(2) 自主的な審議（公開）

・誰もが誰かとつながっている春日 ～春日流儀～

3 開催日時

令和8年3月11日（水）午後6時30分から午後8時8分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第一会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）

・委員：池亀委員、市川委員、上野委員、折橋委員、崎田委員、瀧本委員、
田中会長、原委員、本多委員、松澤副会長、山田委員、山谷委員、
吉田(義)委員、渡部委員（欠席5名）

・資産活用課：竹下課長

・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

8 発言の内容（要旨）

【村山副所長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【田中会長】

・会議の開会を宣言

- ・挨拶

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【田中会長】

- ・会議録の確認：渡部委員に依頼
次第3議題「(1) 報告事項」の「上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応(案)について」に入る。本件の担当課である資産活用課へ説明を求める。

【資産活用課 竹下課長】

- ・挨拶
・資料No.1-1、No.1-2、No.1-3に基づき説明

【田中会長】

ただ今の説明について、質問や意見はあるか。

【池亀委員】

資料No.1-3に記載されている春日地区の公共施設の一覧表を見ても、無くなってよい施設は見当たらない。最近、三和区などで廃校となった小学校を再利用したという話を聞いた。そのことについて教えていただきたい。

【資産活用課 竹下課長】

三和区では、3つの小学校を1つに統合し、2つは廃止した。地域の皆さんが廃校のプールを活用してオニバスを栽培しているが、施設の全てを有効活用してはいない。

廃校の有効活用に関し、令和7年5月から資産活用課が中心となり、市内の15の廃校の情報を市場調査として外部へ提供をした結果、民間事業者から7つの事業提案があった。内容はさまざま、安塚区の旧安塚中学校については実現性の高い提案だったため、現在、事業者選定のプロポーザルを実施しており、事業者が選定されれば廃校の利活用の一つの好事例になるのではないかと考えている。

【渡部委員】

資料No.1-3記載の公の施設の中に「春日山荘」は入らないのか。

【資産活用課 竹下課長】

春日山荘の土地は市の所有だが、建物は上越市社会福祉協議会へ譲渡済みである。

【市川委員】

資料No.1-3 公の施設の現状に記載されている、No.20「木田児童遊園」、No.21「薄袋児童遊園」の場所はどこか。

また、No.21「薄袋児童遊園」と「すすきぶくろこどもの家」の関係は。

【資産活用課 竹下課長】

建物がある施設だけを資料の位置図に掲載しており、建物のないNo.20とNo.21は表示していない。場所は確認し、後日資料を配布する。

【市川委員】

春日区にこどもの家は3つあり、新光町は町内会館が「すすきぶくろこどもの家」となっている。

また、ほかの公園はなく、「薄袋児童遊園」だけが対象になっているのはなぜか。

【資産活用課 竹下課長】

公の施設として市民の利用に供するための施設として、条例に規定されているものをピックアップしている。条例には児童遊園として規定されている。

【市川委員】

こどもの家と児童遊園は異なるのか。

【資産活用課 竹下課長】

こどもの家は建物がある。児童遊園は公園である。

【田中会長】

人口減少に伴い施設利用者が減るのは当然だが、取組を強化するのであれば早めに行い、住民が活用できる手立てや、希望が感じられる雰囲気を作ってほしい。何もしていないと人口も施設利用者も更に減る。廃止されてしまうと市全体の活力が落ちるのではないかと懸念している。

また、「春日山城跡ものがたり館」は今回の対象にならないのか。

【資産活用課 竹下課長】

施設を廃止するだけでなく、まずは施設の機能を集約したいと考えている。稼働率が10パーセントに満たない施設が13区にはある。体育館を例にとると、総合体育館のような施設のほかに、小中学校の学校開放施設を含めれば、体育館が3つある地域もあるが、稼働率が5～10パーセント程度だと非常に非効率である。その場合、全てを廃止するのではなく、機能を集約し、残す施設に力を入れていくよう取組を進めていく。

適正配置の取組を進めると使わなくなる施設が出てくるが、それを放置するのではな

く、行政や地域で利活用できないか検討する。それが難しければ、民間での利活用について幅広く対応していく。

ものがたり館は、条例で「春日山城史跡広場」の中の一施設として規定されている。

【田中会長】

ものがたり館の入場料を少額でも負担していただいているかどうかを考える。

他に質問や意見はあるか。

【吉田(義)委員】

人口減少で公の施設の運営が難しくなることは理解できるが、施設を有効利用する政策も進めなければならない。地域で活発に利用されるような意見を出していくのは地域協議会委員の役目かもしれないが、市も政策面で取り組まないとますます地域が寂しくなっていく。その点も配慮していただきたい。

【資産活用課 竹下課長】

まずは、施設の利用促進に取り組まなければならないと考えている。経年劣化に伴い、機能集約を進めなければならないが、残す施設については幅広く利用促進し、地域にとって、なくてはならない施設となるよう努める。地域の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、利用促進に取り組んでいく。

【田中会長】

他に質問や意見はあるか。

(発言無し)

以上で次第3 議題「(1) 報告事項」の「上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応(案)について」を終了する。

【資産活用課 竹下課長】

4月以降、施設所管課が詳細な見直し内容の説明に伺う予定。また、この計画に基づく取組の主管課として資産活用課も随時伺うので、引き続き協議をお願いしたい。

・資産活用課退席

【田中会長】

次に、次第3 議題「(1) 報告事項」の「地域独自の予算事業の一覧について」に入る。事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

・資料No.2に基づき説明

【田中会長】

ただ今の説明について、質問や意見はあるか。

【吉田(義)委員】

「そと遊びきぶん事業」に参加したことのある委員はいるか。私はまだ行ったことがなく、もし行かれた方がいればどのような事業だったのか教えていただきたい。

【折橋委員】

いろいろなイベントをやっていて、キッチンカーが出たり、たき火をしたりしていた。子供を連れて行けば喜ぶ雰囲気だ。

【吉田(義)委員】

これには市の予算が付いている。春日区の委員がどんなことをやって盛り上げているかをもっとPRして参加者を増やさないと、何のために予算を付けているのか分からない。これだけの金額をかけているのに、どういう活動をしていて、どう宣伝をして盛り上げていくのかが伝わってこない。

もう一点、グラウンド・ゴルフを盛り上げようと、5万9千円の補助金。具体的にどんなことに使われているのかを聞きたい。

【渡邊係長】

「そと遊びきぶん事業」については、若い方が中心に活動しており、チラシの配布に加えてインスタグラムなどのSNSを活用して広報している。そのため、情報をキャッチする年代として若い方の来場が多い印象。ただ、この補助事業を活用し始めてから、市もチラシの配布を支援するようになり、これまでとは違う年齢層の方が関心を持って来られるようになったとの報告がある。年2回2日間ずつ開催しているが、毎回何百人ものお客さんが訪れている。遠方から車で来る方もいる。会場のキャパシティの都合で時間を見計らい入れ替わりながら、多くの方が訪れているという印象。都度委員の皆さんにもチラシを配布しているので、関心がある方は是非足を運んでいただきたい。

グラウンド・ゴルフについては、補助金の用途の確認と、もっと予算を増やして盛大に実施すべきという意見かと思うが、用具と場所があれば費用をあまりかけずにできる競技。金額の内訳は、設営に関わる方のお茶代と景品代が中心である。景品が欲しくて参加するということではないと思うが、盛り上げるために順位付けするなどの工夫であり、少額ならば景品も補助対象にできる。チラシの回覧などは是非、木田町内会にもご協力いただきたい。春日区はとても規模が大きく、また初めての事業でもあるので、大

勢の参加で收拾がつかないと困るので、まずグラウンド・ゴルフの団体のある 4 町内会から始めることとした。対象地域の方は是非参加していただきたい。初心者でも気軽に参加できるよう、練習会や説明会も行う予定。小中学生の参加も促すことで世代間交流を図り、横のつながりだけでなく縦のつながりも大事にしたいという事業である。

【田中会長】

他に質問や意見はあるか。

【崎田委員】

自己負担額とあるが、事業実施に際し、資金不足となる場合は総事業費を下げるのか。スポンサーを付けたり、会費を集めたりして補ってもよいのか。

【渡邊係長】

地域活動支援事業からの継続事業は総事業費の 1 割を、新規事業は 3 割を自己負担していただく。自己負担分をどうしても捻出できない場合は、事業規模を団体の予算に合わせる必要がある。団体として無理のない範囲で取り組んでいただいている。

また、例えば、先ほどの「そと遊びきぶん事業」では、企業等に足を運び、事業を P R して、協賛金をいただいている。春日区内の店舗にも参加してもらうなどして、自己資金を確保している。景品が出る事業ならば、参加者から受益者負担として 100 円でもいただくという工夫も必要。自己負担は発生するが、皆さん工夫して活動している。

【山田委員】

「グラウンド・ゴルフによる地域交流事業」の 4 町内は、木田・藤巻・岩木とどこか。

【渡邊係長】

藤新田。

【渡部委員】

これは春日区内にどう P R するのが重要。全く知らない人もいるだろうし、その点がこれから問題になるのではないか。

【渡邊係長】

町内会関係では、回覧や全戸配布といった手段がある。事務局では公共施設でのチラシの設置や、委員の皆さんや関係者へ積極的に配布している。さらに周知にご協力いただければ、皆さんにチラシをお渡しするのでお願いしたい。

地域協議会の皆さんに報告するのは、地域でどのような団体がどのような事業を実施しているのかを把握していただき、今後の話し合いの参考にさせていただくためである。

是非PRの方もお手伝いいただきたい。

【折橋委員】

この地域独自の予算事業の経費内訳や審査結果は、市ホームページ等で見られるか。

【渡邊係長】

活動の事例集として令和6年度分までホームページに掲載しているが、経費の内訳までは掲載していない。事業完了後、実績報告書が提出されるので、それを事務局が責任を持って審査している。

【折橋委員】

「そと遊びきぶん事業」の事業費は250万円もかかっている。経費の内訳は。

【渡邊係長】

総事業費は252万8千円だが、予算額、つまり補助金額は対象経費の7割で171万3千円。春と秋の2回開催で、それぞれ2日間ずつなので、1回で250万円がかかっているわけではない。会場のステージ設営や、ポスター・チラシの印刷費、たき火の薪代、照明等が主な経費。ここ数年継続していることで事業基盤が整ってきたため、徐々に事業内容と補助対象経費を見直している。

【山田委員】

この事業はどこで開催しているのか。

【渡邊係長】

岩木。上越教育大学の近くのマンションの奥に公園があり、私有地であるが、普段は「ピンクロパーク」と白いのぼりが立っている。イベント時以外も開放されている。

【田中会長】

他に質問や意見はあるか。

(発言無し)

以上で次第3議題「(1) 報告事項」の「地域独自の予算事業の一覧について」を終了する。

次に、次第3議題「(2) 自主的な審議」の「誰もが誰かにつながっている春日～春日流儀～」に入る。

前回の地域協議会では、「誰もが誰かにつながっている春日～春日流儀～」のうち、「簡単なゲームを通じた世代間交流」について協議した。

本日は、「誰もが誰かにつながっている春日～春日流儀～」のうち、「共通の趣味など

を持った人の交流」の具体的な解決策について取り組みたい。

本日の進め方について事務局へ説明を求める。

【渡邊係長】

本日も、皆さんから提案のあった解決策を具体的にどのように進めるかを協議する。

テーマ②「誰もが誰かとつながっている春日～春日流儀～」について、解決の方向性が「簡単なゲームを通じた世代間交流事業」と「共通の趣味などを持った人の交流」の2つに分かれたので、「共通の趣味などを持った人の交流」をテーマ②のBとし、3グループに分かれて協議する。

今回で3つの提案全てに全委員の意見を抽出することになるので、4月以降は、好きなテーマを選んでいただき、メンバーを固定して進めたい。これまで3回の協議結果は、固定したグループに託し、今後協議を進めていただく。

【田中会長】

ただ今の説明について、質問はあるか。

(発言無し)

【渡邊係長】

・資料No.3に基づき説明

これまで同様、グループに分かれて協議する。ファシリテーター、タイムキーパー、書記、発表等は事務局が担う。

【田中会長】

ただ今の説明について、質問はあるか。

【田中会長】

他に質問はあるか。

(発言無し)

(各グループに分かれて協議)

【田中会長】

事務局から各グループの協議事項を報告する。

【Aグループ】

本多委員、山田委員、山谷委員、吉田(義)委員、渡部委員

(発表：渡邊係長)

今回は具体的な事業というより、資料No.3で空欄になっている押さえない点や大切にし

たい点を中心に意見が挙げられた。

- ・春日区は人口規模が大きいですが、最初から大きなことをするのではなく、小さなことから少しずつ事業を広げていく。
- ・世代間交流に加えて、男性も女性も参加しやすいこと。特に夫婦で参加されると友達の輪も広がる。
- ・簡単に見て分かるルールが一番よいが、新しいことを実施する場合は、練習や説明会を丁寧に実施する。
- ・楽しむことを目的にする。本気で競い合って町内同士が仲悪くなるようなきっかけにならないように活動する。
- ・できればお金がかからないことが望ましい。少額なら仕方ないが、毎回参加費が高いと、毎月の開催は続かない。
- ・互いの顔が見える事業。「誰もが誰かとつながっている春日」のテーマの課題にも関連するが、コミュニケーションを取ることが大事なので、参加しやすく、いつでも気軽に参加できる事業とする。例えば、公民館事業で春日謙信交流館の会議室を月曜日の夕方3時から5時まで中高生に開放している。春休みで学生がいない時期もあるが、常に何人かいて、スマホではなく、置いてあるボードゲームで遊んでいたりする。いつ来ても、何をしてもよいという「いつでもどうぞ」の空間が大事である。

【Bグループ】

崎田委員、瀧本委員、田中会長、原委員、松澤副会長

(発表：村山副所長)

「共通の趣味などを持った人がつながるための交流」として、まず「共通の趣味とは何か」ということから整理した。サークルや趣味活動の一覧があれば、参加しやすく、きっかけが作れるのではないかと。

また、全ての人に共通することとして、「食べること」について考えてはどうか。

- ・山形県を中心に行われている郷土料理の芋煮会的なもの。
- ・各町内会に防災用の大きな鍋があるので、町内会ごとに味付けを変えて皆で食べる。
- ・上杉謙信にちなんで「謙信鍋」という名前にして、各地区で様々な作り方で食べる。

【Cグループ】

池亀委員、市川委員、上野委員、折橋委員

(発表：鈴木主事)

スポーツの活動は動ける方や参加できる年代に限られるので、作品展を開催する。

- ・絵や書道、パッチワークなど、何でも出展できる作品展を小学校や公民館を借りて開催し、好きなものを飾る機会を作る。
- ・作品を飾るコーナーとは別に工作などの活動ができる場を作ることにより、コミュニティや交流が生まれる。
- ・春日区は大きく、町内全体を巻き込むと大規模になることと、長期化すると同じ人ばかりが作品を出展することもあるので、各町内で作品を展示してもらい、地域の方が会場を回る。その際、ウォークラリーのように会場でスタンプをもらい、最後にゴールで景品がもらえる。
- ・観覧のみでは滞在時間が短くなるので、飲食スペースを作ることで滞在時間が長くなり、より長く見ていただける。

【田中会長】

各グループの発表に対して、質問、意見はあるか。

(発言無し)

Cグループの発表に関連して、私の意見だが、高田地区では「上越オープンガーデンと花めぐり」として、個人宅の庭や店先などを一般公開して草花を自由に鑑賞できるイベントが開催されている。春日区でも同様のイベントができるのではないかと考える。

他に質問、意見はあるか。

(発言無し)

これまでの意見を整理して、次回以降に資料として示す。また、今回は、これまで2つのテーマで3つの事業について話し合った内容を基に、正式に3グループに分かれ、分科会として話し合いを進めたい。

以上で次第3 議題「(2) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。

次に、次第4 その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

【村山副所長】

- ・次回の地域協議会：4月8日（水）午後6時30分から

上越市市民プラザ 第一会議室（予定）

【田中会長】

以上で次第4 その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第4その他の「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

【渡邊係長】

- ・地域協議会だよりの配布方法を全戸配布から班回覧に変更することについて
(意見無し)
- ・地域協議会当日の電話転送廃止について報告

【田中会長】

他に何かあるか。

(無しの声)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。